

静岡県教育研究会特別支援教育研究部

部長 後藤 克巳

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年度より部員が参集しての夏季研究大会を行うことができませんでしたが、昨年度の駿東・沼津大会において、4年ぶりに参集型で開催することができました。しかし、まだまだ感染拡大の心配もあり、全県を対象とした参集型開催はできず、オンデマンド配信を組み合わせたハイブリット型での開催となりました。

本年度は、県内の多くの熱意ある部員の期待に応えようと、藤井実行委員長を中心に、全県を対象とした参集型の夏季大会を実現することができました。早い時期から組織をつくり、準備を進めてくださいました。久しぶりの大きな参集型開催でしたので、藤井実行委員長をはじめ、湖西地区、磐周地区の先生方には、大変な御苦勞をおかけしましたが、会場の設定や大会プログラムなどに多くの心遣いと工夫が盛り込まれており、当日のスタッフの方々の対応も的確・誠実で、本当にすばらしい大会となりました。

また、話題提案者の先生方をはじめ助言者など、志太、静岡、田方、賀茂地区の分科会関係者の皆様方には、長い時間をかけて準備をしていただきました。特別な支援を要する児童生徒の増加の中、一人一人の「個性」を大事に育もうとアイデアと教育機器を十分に活用した実践など、大変参考になる内容でした。話題提案者並びに共に研究をされてきた皆様のこれまでの御準備、御苦勞に感謝申し上げます。

さて、本年度も研究主題を

主体的に学び、将来にわたり豊かに生きる力を育む特別支援教育  
～障害のある子もない子も共に学び合う学校をめざして～

として夏季研究大会を中心に研究を進めて参りました。その研究の内容、夏季研究大会の様子をこの「研究集録」にまとめました。話題提供をしていただいた各学校や地区における様々な成果や課題が、研究部員の方々の指導の参考となり、児童生徒の自立を支える一助となれば幸いです。

最後になりましたが、本年度の夏季研究大会の企画・準備を進めていただいた藤井実行委員長をはじめ多くの先生方に、深く感謝申し上げます。

令和6年度

## 静岡県教育研究会 特別支援教育研究部 夏季研究大会

日時：令和6年8月8日(木) 会場：浜松市福祉交流センター

【全体会】 12:50～

1. 開会の言葉
2. 研究部長挨拶
3. 大会関係者、分科会話題提供者、助言者紹介
4. 閉会の言葉

【講演】 13:15～14:35

演題：「多様性の社会における特別支援教育」

講師：静岡大学教育学部 教授 香野 毅 氏

【分科会】 14:45～

### 第1分科会 通常学級における特別支援教育(小学校)

話題提供者：松下和枝(焼津市立黒石小学校) 助言者：鈴木由美子(焼津市こども未来部)

### 第2分科会 通常学級における特別支援教育(中学校)

話題提供者：高畑加奈(静岡市立服織中学校) 助言者：伏見倫也(前 静岡市立宮竹小学校長)

### 第3分科会 特別支援学級における指導(小学校)

話題提供者：日吉わか奈(伊豆の国市立釜山小学校) 助言者：岩本浩輔(函南町立西小学校)

### 第4分科会 特別支援学級における指導(中学校)

話題提供者：若林美歩(下田市立下田中学校) 助言者：滝井隆(伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校)

### 【諸連絡】

- ・講演会終了後、各分科会会場に移動してください。
- ・分科会終了後、下のQRコードを読み取り、アンケートへのご協力をお願いします。



←アンケート用QRコード

### 【会場図】

